

令和5年度京都府中学校体育連盟の取組

1 組織：京都府中学校の単位体育連盟の中の加盟連盟をもって組織する（規約第5条）

役員	氏名	所属	勤務校	役員	氏名	所属	勤務校	
会長	☆野川 晋司	京都市	桂	理事	土田 真司	中丹(福知山)	南 陵	
副会長	☆山下 信之	山城	男山三		原田 鉄兵	丹後(与謝)	橋 立	
	☆川口 研一	口丹波	詳 徳		大崎 浩	京都市	桃 山	
	☆松林周一郎	中 丹	白 糸		神谷 京子	京都市	桂	
	☆井上 達夫	丹 後	橋 立		片山 典子	京都市	藤 森	
	☆片岡 真澄	京都市	八 条		栗林 洋平	京都市	春日丘	
理事長	☆岸本 卓也	京都市	洛 北		増田 翔太	京都市	二 条	
副理事長	☆北村 眞也	山城(宇治)	西宇治		庶 務	松本 貞治	口丹波(亀岡)	大 成
	☆松本 貞治	口丹波(亀岡)	大 成	会 計	西川 寿 中鉢 良平	山城(相楽)	精華西 精 華	
	☆相見 貴志	中丹(綾部)	綾 部	研 究	相見 貴志	中丹(綾部)	綾 部	
	☆木下 亮	丹後(京丹後)	大 宮	競技力	木下 亮	丹後(京丹後)	大 宮	
	☆中村 利之	京都市	下 京	報告書	増田 翔太	京都市	二 条	
理事	安田 真望	山城(乙訓)	長 岡	事務局	浅野 勇人	府教委保健体育課内		
	井寄 聖	山城(城久)	北城陽	監 査	實川 明彦	山城(乙訓)	寺 戸	
	平館 一馬	山城(綴喜)	田 辺		小林 鉄男	京都市	洛 西	
	西川 寿 中鉢 良平	山城(相楽)	精華西 精 華					
	風間 拓也	口丹波(南船)	美 山					
	山内 薫	中丹(舞鶴)	白 糸					

☆は常任理事

日本中体連	評 議 員	野川 晋司				
近畿中体連	副会長	野川 晋司	副理事長	岸本 卓也	監 事	山下 信之
	理 事	貫井 みさき (京都府教委中体連担当指導主事) 橋本 剛太 (京都市教委中体連担当指導主事) 北村 眞也・浅野 勇人				

2 目的：京都府における中学校体育の健全な発展を図る（規約第3条）

事業：目的達成の為に、次の事業を行う（規約第4条）

- (1) 体育に関する講習会・研究会の開催
- (2) 各種競技会の開催
- (3) 体育に関する調査・研究及び発表会の開催
- (4) 体育用具の研究
- (5) その他目的の達成に必要と思われる事業

3 令和5年度の事業

(1) 府中体連関係（会議関係）

月日	曜日	場 所	内 容
5/2	火	京都テルサ	第1回役員会・第1回理事会 令和5年度事業・決算報告 令和5年度組織・事業・予算等の決定
5/16	火	口丹波勤労者福祉会館	第2回理事会・第1回理事・専門委員（代表）合同会議 専門委員長の決定、令和5年度府総体についての説明
6/23	金	京都府公館	第3回理事会・第1回理事・専門委員長合同会議 令和4年度府総体要項審議
9/22	金	京都市総合教育センター	第4回理事会・第2回理事・専門委員長合同会議 府・近畿・全国大会反省と府駅伝・スキー要項審議・最終確認
11/6	月	京都テルサ	第1回臨時拡大理事会 令和6年度全国中学校体育大会への地域スポーツ団体等の参加について
2/22	木	京都テルサ	第5回理事会・第3回理事・専門委員長合同会議 本年度の総括と次年度の計画

(2) 府中体連関係（事業関係）

月日	曜日	場 所	内 容
7/25～31	火～月	京都府各地	京都府中学校総合体育大会
9/2～10/14	土～土	京都市	同 ラグビーの部（吉祥院・宝ヶ池）
11/12	日	京丹波町	同 駅伝競走の部（丹波自然運動公園周辺コース）
11/25	土	京都市	同 スケートの部（京都アクアリーナ）
1/3～5	水～金	長野県	同 スキーの部（野沢温泉スキー場）

(3) 近畿中体連関係（会議関係）

月日	曜日	場 所	内 容
5/9	火	大阪・ホテルウイナ大阪	第1回理事会 令和5年度組織・事業・予算等決定
5/26	金	大阪・ホテルウイナ大阪	第2回理事会 第1回専門部総会 近畿中学校総合体育大会について
8/1	火	和歌山 和歌山ビッグ愛	第3回理事会 第2回専門部総会 要項審議及び決定・プログラム編成会議
8/4	金	和歌山・アンパホーム紀の国	第4回理事会 近畿大会最終確認及び功労者表彰
12/2	土	和歌山・岬スポーツパーク	第5回理事会 地域スポーツ団体等の参加の特例について
2/20	火	大阪・ホテルウイナ	第6回理事会 第3回専門部総会 本年度の総括と次年度の計画

(4) 近畿中体連関係（事業関係）

月 日	曜日	場 所	内 容
8/5～11	土～金	和歌山県各地	近畿中学校総合体育大会
10/29 11/4・12	日 土・日	紀三井寺公園	近畿中学校総合体育大会ラグビーフットボールの部
12/2～3	土・日	田辺スポーツパーク 周辺コース	近畿中学校総合体育大会駅伝大会
1/21・22	日・月	兵庫県・奥神宮スキー場 神崎高原カントリークラブ	近畿中学校総合体育大会スキー大会 ※開会式は簡略バージョンにて実施

(5) 日本中体連関係（会議関係）

月 日	曜日	場 所	内 容
6/1	木	アジュール竹芝	(公財) 日本中体連定時評議員会
10/13	金	東京ガーデンパレス	(公財) 日本中体連実務全国担当者会議
3/7	木	アジュール竹芝	(公財) 日本中体連臨時評議員会

(6) 日本中体連関係（事業関係）

月 日	曜日	場 所	内 容
8/17～25	木～金	四国ブロック	全国中学校体育大会
12/16・17	土・日	滋賀県・野洲総合体育館 滋賀県・琵琶湖近江公園芝生ランド	全国中学校駅伝大会開会式 全国中学校駅伝大会
1/18・19	木～金	京都府 ANAクラウンプラザホテル京都	(公財) 日本中学校体育連盟研究大会京都大会
2/3～6	土～火	長野県・長野市	全国中学校体育大会スケート大会
2/6～9	火～金	長野県・野沢温泉村	全国中学校体育大会スキー大会

- (7) 運動部活動指導者研修会
令和5年11月27日(月) : 京都学・歴彩館
※ハイブリッド形式で開催
- (8) 中学校・高等学校体育連盟連携会議
令和5年11月27日(月) : 京都学・歴彩館
- (9) 令和5年度第40回記念大会(公財)日本中学校体育連盟研究大会(京都大会)
令和6年1月18日(木)・19日(金) : ANAクラウンプラザホテル京都
参加者 中体連役員28名
- (10) 令和5年度京都府競技力向上対策本部事業 第11回コーチングセミナー
 <全体講義>
 「現役のトップアスリートからホビーランナーまでのコンディショニング
 ～ペアで行う『ムービングリリリース』下肢編～」
 講師 株式会社 HRS 前川 修毅 氏(鍼灸師)
 参加者 約40名
 令和5年12月9日(土) : 山城総合運動公園 多目的ジム
 <実技>
 参加者 約50名
 ・ソフトボール
 令和5年12月2日(土) : 京都市立洛南中学校
 講師 木田 京子(園田学園女子大学)
 ・剣道
 令和6年2月3日(土)
 ・バスケットボール
 令和6年2月4日(日)
 ・陸上競技
 令和6年1月13日(土)
- (11) その他
 ①(公財)京都府スポーツ協会理事(会長)・評議員(事務局長)・競技力強化委員会委員(理事長)
 ・(公財)京都府スポーツ協会理事会
 ・(公財)京都府スポーツ協会評議員会
 ・(公財)京都府スポーツ協会競技力強化委員会
 ・国民体育大会結団式(会長)
 ・府民総体オープンフェスティバル式典(会長)
 ②京都新聞ジュニア・スポーツ賞選考委員(理事長)
 ・京都新聞ジュニア・スポーツ賞選考会議
 ③京都府スポーツ推進審議会委員(会長)
 ・京都府スポーツ推進審議会
 ④京都府競技力向上対策本部常任委員(会長)
 京都府競技力向上対策本部委員(筆頭副会長)
 ・京都府競技力向上対策本部総会
 ・パワフル京都推進大会
 ⑤京都府スポーツ賞授賞式(会長)

4 令和5年度のまとめ

(1) 成果

- ① 新型コロナウイルス感染症が第2類感染症から第5類感染症への移行に伴って、必要に応じて対策を講じ、観客の制限等を無くして、開催することができた。保護者を含め、たくさんの観客が、選手一人ひとりの努力の成果を観覧することができた。
- ② 全国中学校体育大会(夏季大会)では、団体において、京都精華学園中学校の女子バスケットボール部が優勝など、5種目で7団体が入賞を果たした。個人では、京都光華中学校の陸上競技4×100mリレーの優勝をはじめ、3種目で14名が入賞を果たした。また、駅伝大会では、南城陽中学校女子駅伝部が4位の好成績を収め、個人では、区間賞1名をはじめ、5名が入賞を果たした。
- ③ 令和5年度第40回記念大会(公財)日本中学校体育連盟研究大会京都大会に向けて、6月、12月に実行委員会を開催し、計画的に準備を進めることができた。講演会及びシンポジウムにおける講師、コーディネーター、シンポジスト、分科会発表者、来賓においては、原稿依頼も行い、研究紀要を完成させることができた。
- ④ 令和6年度についても今年度同様に、全国中学校体育大会に地域クラブ活動が参加するにあたって、京都府中学校体育連盟として、臨時理事会を開催し、京都府中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格の特例等を検討し、作成できた。
- ⑤ 令和5年度より、(公財)日本中学校体育連盟が複数校合同チームにおける規定の一部変更、拠点校部活動の導入を行ったことを受けて、京都府中体連でも柔軟な対応を行った。

(2) 課題

① 持続可能な運動部活動

生徒数の減少に伴い、運動部活動設置数も比例して減少傾向である。複数校合同チームや運動部がなくても個人参加を認めていくなどの対策を講じているが、減少が続いている。「持続可能な運動部活動」として、複数校合同チームの規程の見直し、拠点校制度の導入を行ったが、今後もさらに柔軟な対応が必要となる。また、運動部活動ガイドラインに則った効率的な部活動運営を計画するとともに、働き方改革を考慮する中で、より専門的な指導方法を追求していくため、部活動指導員・外部指導者の活用も含め、新たな運動部活動を構築していく必要がある。また、担当する運動部活動が未経験であるという専門外顧問の割合が全体の41%と高く、今後も指導者研修を重ね、研究していく必要がある。

② 令和6年度以降の京都府総合体育大会における地域クラブ活動の参加について

京都府内の各ブロック、専門部によって、それぞれ状況が違う中で、一人でも多くの生徒が公平・公正の状況のもと、大会に参加できる環境設定が必要となる。

③ 予算の見直し

令和5年度より分担金を増額したが、今後も続く、生徒数の減少による分担金の減少、物価の高騰、会場費、特に空調費の高騰、減免対象からの除外、地域クラブ活動の参加、消費税の増額の可能性等を踏まえると、令和10年度までに非常に逼迫した状況に陥ることが予測される。そのため、経費の削減等の予算の整理を行う必要がある。